

# 情報通信月間参加行事 実施報告書

行事ID	C025	行事名	周波数資源開発シンポジウム2021	
行事形式	講演会	主催団体	国立研究開発法人情報通信研究機構 一般社団法人電波産業会	
開催日	2021年7月9日		開催場所	明治記念館
行事参加者数	403		WebサイトURL	<a href="https://www.arib.or.jp/image/osirase/news/1272.pdf">https://www.arib.or.jp/image/osirase/news/1272.pdf</a>

## 行事実施概要・アピール等

「5G、そしてその先へ～ローカル5G、Beyond 5G/6Gに見るこれからの情報通信社会」をテーマにした「周波数資源開発シンポジウム2021」が、一般社団法人電波産業会及び国立研究開発法人情報通信研究機構主催、総務省後援、情報通信月間推進協議会協賛により、明治記念館 蓬莱の間(東京都港区元赤坂)において開催されました。

現在、第5世代移動通信システム(5G)を基盤として自営のサービスを提供するローカル5Gへの期待が高まっています。また、将来のSociety 5.0を支える無線基盤として、5Gをさらに発展させたBeyond 5G/6Gといった次世代移動通信システムの技術的な検討や議論も国内外で開始されています。

本シンポジウムでは、それらの新たな周波数利用につながるワイヤレス通信技術に焦点を当て、技術や標準化動向、アプリケーション、政策等について、産学官の専門家に講演頂きました。

当日は、国立研究開発法人情報通信研究機構の門脇直人理事が開会の挨拶を行い、総務省総合通信基盤局の野崎雅稔電波部長から来賓挨拶をいただきました。総務省総合通信基盤局の荻原直彦電波政策課長から「最近の電波政策の動向について」の演題で基調講演をいただいた後、大阪大学大学院の三瓶政一教授から「Society 5.0時代に向けた移動通信システム」、富士通株式会社の後藤知範理事から「ローカル5Gの社会展開」、株式会社NTTドコモの中村武宏執行役員から「5G Evolution & 6G」、オウル大学(フィンランド)のLATVA-AHO Matti教授から「6G - The Road Ahead」、国立研究開発法人情報通信研究機構の松村武ワイヤレスシステム研究室長から「5Gの高度化とそれを支えるワイヤレスエミュレータ」の各演題で、大変有意義なご講演をいただきました。

今回のシンポジウムは、感染症対策のため会場定員を大幅に制限する代わりにオンライン配信を併用することで、総勢約380名のお客様にご参加いただくことができました。そしてシンポジウムは弊会の見玉俊介専務理事が開会の挨拶を行い、盛況のうちに終了いたしました。

←ロードバース…セル内で改行する時はAltを押しながらEnterを押してください。

